

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2024\_v1.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮)あわじ浜離宮新館 新築工事	階数	地上3階
建設地	兵庫県南あわじ市松帆古津路970番	構造	RC造
用途地域	指定なし	平均居住人員	149 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,400 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年12月 予定	評価の実施日	2025年10月1日
敷地面積	13,201 m <sup>2</sup>	作成者	(株)石建築事務所
建築面積	2,820 m <sup>2</sup>	確認日	2025年10月6日
延床面積	5,816 m <sup>2</sup>	確認者	(株)石建築事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

標準計算  
 ①参照値 100%  
 ②建築物の取組み 79%  
 ③上記+②以外の 79%  
 ④上記+ 79%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.9

音環境	3.1
温熱環境	3.0
光・視環境	2.6
空気質環境	3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

機能性	3.2
耐用性	3.0
対応性	2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

#### LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.1

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システム効率化	2.8
効率的	2.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	3.0
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.8

地球温暖化	3.8
地域環境	2.4
周辺環境	2.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	静かな瀬戸内海に佇むリラクゼーションが可能なホテルを計画する。	<b>その他</b> 瀬戸内海に佇むラグジュアリーホテルとして、日本内外からの観光客に対応できる地域の特性と調和のとれた建物を目指す。
<b>Q1 室内環境</b>	共用部から客室内への騒音を注意し、客室内の長期滞在者への居住性を確保する。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 地域の景観から逸脱した色彩を用いず、周辺の建物にも馴染む外壁色を採用する。地域景観の中に溶け込むリゾートホテルを目指す。
<b>LR1 エネルギー</b>	特に客室内における室内温度の上昇、下降に注意し、外壁の断熱は確実に実施する。	<b>LR3 敷地外環境</b> 周辺地域は落ち着いた雰囲気であり、夜間は特に照明の光が目立つ事が無いように照明色温度は暖色系を用いて、落ち着いた環境を目指す。
<b>Q2 サービス性能</b>	人工的で無機質なシティホテルではなく、天然素材をポイントとなる場所に使用し、居心地の良さ、ラグジュアリー感を追求した環境を目指す。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	客室テラスは広く設計する為、デッキ材に使用する材料は広範囲になる。そのエリア全てに、天然木デッキではなく、再生材を使用した人工木材デッキを採用した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。  
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される